

放射能測定結果での表記で目立つようになってきました ND ですが、Not Detected または No Detection の略で、不検出と訳されています。これは放射性物質がゼロ(0)であったという意味ではなく、測定機器の性能などの関係で放射性物質を検出できる限界以下になっているという意味で用いられています。ネット農縁・新庄大豆畑トラストでは、この点について直接お聞きした所、今回農縁から依頼された作物については、セシウム134、137のピークは検出されませんでしたので、1 Bq/kg(1kg に対し 1 秒間に放射する数の値)以下とさせていただいて構わないそうです。

なお、k-40 は、自然界にもともと存在するカリウムのことを指します。

グロスカウントは、既に自然界・外気に存在している部分も含めた全体のカウントの個数です。(測定時間が 36000 秒なら 36000 秒の間に、存在している物質の放射している数です。その中で、測定したスペクトル図で、たとえばセシウム 137 のエネルギー 661.65Kev の値の所を見てもピークとして検出されていないので、不検出と判断し、放射能濃度の欄に ND と表示を致します。)

さて、そこで深刻な問題として、不検出は決してゼロ(0)を意味するわけではないと云うことです。今までの核実験(水爆・原爆)や原子力発電炉からの放射線物質飛散による放射能汚染は、既に日本中の広範囲の至る所に及んでいる以上、現況の実体を事実として受け止めるしか有りません。しかし、それでもなお諦めずに、少しでも早く放射能汚染の元凶を止めるべく声を上げ、行動をし、少しでも被害が最小で留まる、いや被害が出ないようにする工夫を実践しなければなりません。今回の検出限界 5 Bq/kg の測定で「不検出」(今回測定では 1Bq 以下と考えて OK との確認)と、ネット農縁のお米・枝豆(大豆はこれから収穫して検査)の判断ができましたので、ここにチェルノブイリの事故等で深刻な被害に今なお遭っている国々の基準値(皆さんが既にご承知の)を改めて提示して、事務局としては、皆さんに 2011 年度産のお米と枝豆をお届け致します。各生産者の測定結果報告書の表示はネットワーク農縁関係の各ホームページに掲載されますのでご参照下さい。(内部被曝については大豆畑トラストのブログ参照を)そして、これから生産者、私達消費者自身は、放射能汚染の元凶を止めるための行動を、今までの無農薬・無化学肥料の有機農業を応援し、遺伝子組み換え食品は安心できない、だから買わない・食べない・作らせないと頑張ってきた以上に、各人できる所から、できる内容で始めなければなりません。今までの私達の食生活、エネルギー生活の享受が、差別貧困飢餓戦火の犠牲の上に成り立っていることにもっと、もっと想いを馳せない訳にはいきません。(ウランの採掘は誰が? 原発立地はどこに? 放射性廃棄物の管理は? 今後の大地震には耐える? etc.)

食品についての基準値	Bq/kg	セシウム関連
ドイツ放射線防護協会(子供)	: 4	
ベラルーシ(子供)	: 37	
ウクライナ	: 40	
コーデックス(食品の国際規格)	: 100	
日本	: 500	